

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	健福	-	7	戦傷病者戦没者遺族等援護事業				■ 法定受託事務
所管課	健康福祉部 福祉政策課				評価者	福祉政策課長 矢部 哲也		
一般	会計	款	15	項	5	目	5	
総合計画上の位置付け	分野名	健康福祉			施策の方針名	多様性のある福祉サービスの充実		

1 事業の目的

対象	戦没者の遺族、原子爆弾被爆者及び市民	意図	戦没者の追悼、原子爆弾被爆者に対する援護を通じ、平和を祈念するため。
効果	対象者の生活の援護や安定を目指し、福祉の増進を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度：年度） ■ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	・鎌倉市遺族会・鎌倉市被爆者の会への補助金交付 ・援護資格者への援護手当を支給（法定受託事務） ・戦没者等追悼式の実施 ・第12回特別弔慰金請求受付事務（法定受託事務）	・鎌倉市遺族会・鎌倉市被爆者の会への補助金交付 ・援護資格者への援護手当を支給 ・戦没者等追悼式の実施 ・第12回特別弔慰金請求受付事務（法定受託事務） ・中国残留邦人等支援事務	・鎌倉市遺族会・鎌倉市被爆者の会への補助金交付 ・援護資格者への援護手当を支給 ・戦没者等追悼式の実施 ・第12回特別弔慰金請求受付事務（法定受託事務） ・中国残留邦人等支援事務
予算額（千円）	2,463	2,324	
国県支出金	187	83	
地方債			
その他			
一般財源	2,276	2,241	0
当初人員配置数	1.3	1.4	0.0
人件費（千円）	7,520	6,484	0
事業実績	・鎌倉市遺族会・鎌倉市被爆者の会への補助金交付 ・援護資格者への援護手当を支給（法定受託事務） ・戦没者等追悼式の実施 ・第12回特別弔慰金請求受付事務（法定受託事務）		
決算額（千円）	2,258		
国県支出金	152		
地方債			
その他			
一般財源	2,106	0	0
人員配置実績数	1.3	0.0	0.0
人件費（千円）	7,317	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7 (上段実績、下段経費（千円）)	R8	R9
活1	指標名	鎌倉市戦没者追悼式参列者数	人	107	⇒	111		
	実績につながる活動	戦没者追悼式を実施・周知を行った。				347		
活2	指標名	第12回特別弔慰金請求県進達件数（法定受託事務）	件	682 (前回令和2年実施)	481	429		
	実績につながる活動	第12回特別弔慰金対象者に漏れなく請求書を送付し、受付・書類確認を行い、県を通して裁定県に提出した。				—		
活3	指標名	被爆者援護手当支給延べ人数	人	900	⇒	826		
	実績につながる活動	本市の援護資格者に対して、月額2,000円の支給を行った。				1,652		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・戦没者追悼式については、戦没者を追悼することを目的としているが、参列する遺族等が高齢化しているため、参列者は減少していく。今後は戦没者への追悼の意や戦争の記憶の継承に寄与していくため、周知啓発の方法を検討するなど、参列者が減少していかないように努める。 ・第12回特別弔慰金対象者に漏れなく請求書を送付し、受付・書類確認、県への進達等を行った。なお、国庫債券請求受付は令和9年度末までのため、引き続き確実に事務を進め、手続き遅延や申請漏れの抑制に努めていく。（法定受託事務） ・被爆者援護手当については、本市の資格者に漏れなく支給を行った。なお数値については、死亡・転出等、資格者の状況により変動する。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果 指標No (最大3つ)
成1								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	戦没者追悼式や被爆者援護手当については、実施することで戦没者の追悼、被爆者の生活の安定及び福祉の増進が図られるため、アウトカム指標には馴染まない。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☐ 変わらない	☒ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☐ 市	☒ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	☒ できる	☐ できない	
方向性		受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない
		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直し ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	
					事業へ統合

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新規事業の必要性はない		
総評		・戦没者追悼式や遺族会・被爆者の会への補助を実施することで、戦没者への追悼の意を表すとともに戦争の記憶の継承に寄与している。 ・被爆者援護手当は支給することで、被爆者の生活の安定及び福祉の増進に寄与している。		上位施策への寄与度 B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	被爆者援護手当支給額								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	24,000円	41,000円	12,000円	5,000円	なし	5,000円	なし	なし	なし
	年額	年額	年額	年額		年額			

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	被爆者援護手当の支給額については、他市と比較しても充実していると評価できる。
----------------------	--